

成育医療等基本方針に基づいた指標の中間評価方法の検討

| | | |
|-------|--------|---------------------------|
| 研究代表者 | 山縣 然太郎 | （国立成育医療研究センター成育こどもシンクタンク） |
| 研究分担者 | 上原 里程 | （国立保健医療科学院疫学・統計研究部） |
| 研究分担者 | 尾島 俊之 | （浜松医科大学医学部医学科健康社会医学講座） |
| 研究分担者 | 市川 香織 | （東京情報大学看護学部看護学科） |
| 研究分担者 | 相田 潤 | （東京科学大学大学院医歯学総合研究科） |
| 研究分担者 | 後藤 あや | （福島県立医科大学総合科学教育研究センター） |
| 研究分担者 | 甲賀 かをり | （千葉大学大学院医学研究院産婦人科学） |
| 研究分担者 | 森崎 菜穂 | （国立成育医療研究センター研究所社会医学研究部） |
| 研究分担者 | 竹原 健二 | （国立成育医療研究センター研究所政策科学研究部） |
| 研究分担者 | 松浦 賢長 | （福岡県立大学看護学部） |
| 研究分担者 | 永光 信一郎 | （福岡大学医学部小児科） |
| 研究協力者 | 秋山 有佳 | （山梨学院大学栄養学部） |
| 研究協力者 | 新井 猛浩 | （山形大学地域教育文化学部） |
| 研究協力者 | 島田 怜実 | （東京科学大学大学院医歯学総合研究科） |
| 研究協力者 | 石塚 一枝 | （国立成育医療研究センター研究所社会医学研究部） |
| 研究協力者 | 三好 しのぶ | （国立成育医療研究センター研究所社会医学研究部） |

研究要旨

本研究は成育基本法における成育医療等基本方針に基づいた施策の評価を行うために、その評価方法の検討をすることを目的とした。

評価指標のデータソース、直近値の確認および評価シートの作成を行い、令和7年度の成育医療等基本方針の指標の中間評価に向けて準備が整った。

A. 研究目的

本研究は成育基本法における成育医療等基本方針に基づいた施策の評価を行うために、その評価方法の検討をすることを目的とした。

B. 研究方法

成育医療等基本方針に基づいた評価の準備として下記を実施した。

- ・指標のベースライン値の際のデータソースおよび更新の有無を確認した。その上で、指

標の更新時期を検討した。

- ・評価方法については、健やか親子21の中間評価、最終評価の方法をあらためて検討した。
- ・中間評価シートの作成は評価方法と同様に健やか親子21の中間評価、最終評価で用いたシートを参考に作成することとした。
- ・新たな指標や目標値設定の提案として、プレコンセプションケアに関する指標について、プレコンセプションケアの提供のあり方に関する検討会で結果を待って検討すること

とした。

C. 研究結果

結果は下記のようなものである。

- ・ 成育医療等基本方針に基づく指標の直近値を記載した。5つの指標で更新のタイミングが合わないものがあった。また、公表されている指標について、国の指標ではなく都道府県の指標が適切である指標があることがわかった。
- ・ 69の指標について評価シート作成した。内容は、課題名、指標の種類、ベースライン値、直近値、目標値、評価、データソース、結果、分析、課題、算出方法について記載する形式である。評価シートの例を参考資料に付ける。

D. 考察

研究代表者の所属の移動に伴い、モニタリングシステムや乳幼児健診情報システムのサーバーの移行および、その健やか親子21ホームページからのリンクを行ったが、関係各所との連携がスムーズに行え、問題なく完了した。令和7年度の成育医療等基本方針の中間評価に向けた分析・評価方法および評価シートについては健やか親子21の中間評価、最終評価で用いたシートとの整合性を加味して作成することができ、令和7年度早々に評価作業を実施できる準備ができた。

E. 結論

成育医療等基本方針の推進に資するために、令和7年度実施予定の指標の中間評価に向けて方法の検討および評価シートの作成を実施した。

F. 研究発表

1. 論文発表

1) 山縣 然太朗.「こどもまんなか社会」を目指して-健やか親子21と成育医療等基本方針-.公衆衛生(0368-5187)88 巻 11 号 Page1110-1119(2024.11)

2. 学会発表

1) 山縣 然太朗. 母子保健の視点から考える「こどもまんなか社会」の実現 母子保健の視点から考えるこども家庭センターの役割 (会議録) 日本公衆衛生学会総会抄録集 (1347-8060)83 回 Page187(2024.10)

G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

1) 健やか親子21 妊娠・出産・子育て期の健康に関する情報サイトへの「成育医療等基本方針に基づく施策の実施状況に関する評価指標」の一覧表及びグラフの提供 <https://index.infanthces.ncchd.go.jp/pub/> (2025年5月26日確認)

参考資料 評価シート例

成育医療等基本方針に基づいた指標・施策の中間評価およびモニタリング評価シート(2025)

| 1.妊産婦死亡率(監視指標)【健やか親子21(第2次)指標:A-1】アウトカム(健康水準) | | | |
|---|-----------------------|---|--------|
| ベースライン値 | 直近値 | 中間評価 目標値 | 評価(暫定) |
| 2.5(出産10万対) (令和3年) | 3.1(出産10万対) (令和5年) | - | |
| 調査 | | | |
| 人口動態統計 | 人口動態統計 | データ分析 | |
| 結果 | | | |
| 分析 | | | |
| 評価 | | | |
| 調査・分析上の課題 | | | |
| 残された課題 | | | |
| ベースライン値 データ算出方法 | ①調査名 | 人口動態統計 | |
| | ②設問 | <ul style="list-style-type: none"> ・上巻5.37表 死亡 妊産婦死亡の死因別にみた年次別死亡数及び率(出産10万対)の妊産婦死亡数の項目に該当。 ・上巻 死亡 5.37表 妊産婦死亡の死因別にみた年次別死亡数及び死亡率(出産10万対)の妊産婦死亡数の項目に該当。 ・上巻 死産 第7.1表 年次別にみた出生数及び性別死産数並びに死産率(出産千対)及び死産性比の死産数の項目に該当。 | |
| | ③算出方法 | $\text{妊産婦死亡数}/\text{出産数} \times 100,000 = [\text{妊産婦死亡数}/(\text{出生数} + \text{死産数})] \times 100,000$ 例えば、全国値の算出式としては、以下のとおり。 $[21/(811.622+16.277)] \times 100,000$ | |
| | ④備考 | | |
| 直近値のデータ 算出方法 | ①調査名 | 人口動態統計 | |
| | ②設問 | 同上 | |
| | ③算出方法 | 同上 | |
| | ④備考 | 1) 全国には住所地外国・不詳を含む。 2) 妊産婦死亡とは、妊娠中又は妊娠終了後満42日未満の女性の死亡で、妊娠の期間及び部位には関係しないが、妊娠もしくはその管理に関連した又はそれらによって悪化したすべての原因によるものをいう。 | |